

# 適温経済



Too Cold



Just Right



Too Hot



**逆イールド（長短金利の逆転）は、直ちに景気後退を意味するものではありません。**

イールドカーブの極端なフラット化は、一般的に景気拡大サイクルが終盤にあることを意味します。つまり、景気減速感、インフレ圧力の低下など、2020年における景気後退の兆しが少しずつ現れてきていると見ています。FRB（米連邦準備制度理事会）の金融緩和的な姿勢を受けて、主要先進各国の中央銀行も同様のスタンスに傾斜しています。

## 米国経済の再加速

米国の経済指標は、力強い個人消費、活発な住宅市場、企業景況感の改善などが牽引役となり、2019年第2～3四半期に改善すると予想されます。



## Emerging Markets



## エマージング市場に対してやや強気

総じてエマージング株式よりエマージング債券を選好しています。長期的には、エマージング債券の質が構造的に改善してきているため、米国ハイイールド債券やバンクローンと比べて質の高いアセットクラスとして見ています。

2019年第2四半期に入り、米国と中国の景気改善や金融当局のハト派的な姿勢を材料に、市場はリスクオン・モードになると予想します。しかしながら、中国およびエマージング市場は、今後予想される好材料が既に織り込まれている可能性があることや、欧州の景気減速が底入れしていないことについては、引き続き注視しています。

フランシス・ドナルド  
マクロ経済ストラテジーヘッド マニュライフ・アセット・マネジメント



※マニユライフ・アセット・マネジメントは、カナダのグローバル金融サービス企業であるマニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションの資産運用ビジネス部門です。

#### [当資料に関する留意事項]

- 当資料は、情報提供を目的としてマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した参考資料であり、特定の有価証券等の取得勧誘や売買推奨を行うものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報に基づいておりますが、当社がその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更される場合があります。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料の一部または全部について当社の事前許可なく転用・複製その他一切の行為を行うことを禁止させていただきます。
- 当資料に記載された見解・見通し・運用方針は作成時点における当社の見解等であり、将来の経済・市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第433号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会